

## ＜筑後エリア＞

### \*3月14日 コウライアイサ\*雌1・みやま市飯江川 KT

やっと3回目にしてゆっくり観察することができました。車を停めて動かさずに新幹線の橋梁の下で撮っていると、近寄ったり何度か通り過ぎたりしてくれました。

### \*3月15日 ハチジョウツグミ\*1・筑後市筑後広域公園 Mt. Sige

ベニマシコ狙いで、ゆめタウン久留米の裏の筑後川河川林へ出かけました。ニシオジロビタキ、ウグイス、オオジュリンなどを見付けました。そこで、「3月8日に筑後広域公園にヤツガシラがいました」との話を聞き、急遽、筑後広域公園に向かいました。ヤツガシラは確認出来ませんでしたが、ドッグラン場の西側付近の草地にハチジョウツグミを見つけました。雌ではないかと思います。

### \*3月15日 ホオジロハクセキレイ\*1・筑前町下高場 池長裕史

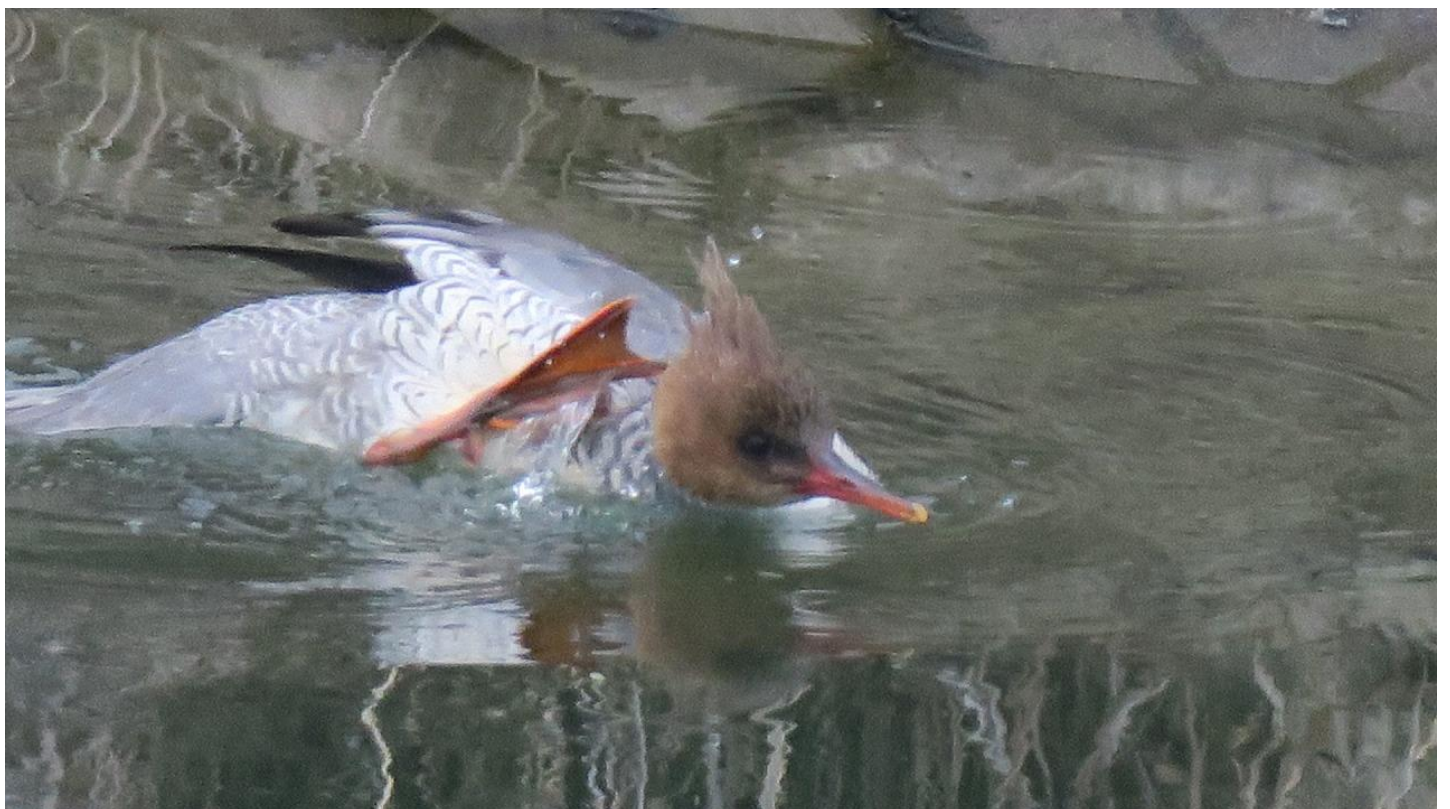
オの木池のまん中の石の上にホオジロハクセキレイが止まっていました。過眼線が無いのが一番の特徴ですが、背中の黒色が強いこともこの亜種の特徴になります。過眼線の無いハクセキレイの亜種は他にもいますが、注意が必要です。ホオジロハクセキレイも春の渡りの鳥のようです。ヘラサギ類は8羽に減っていましたが、池にはオジロトウネン1羽の他のコチドリが10羽以上。上空にはツバメも飛び交っていました。

### \*3月15日 ホオジロハクセキレイ\*1朝倉市馬田 石橋

朝倉の麒麟ビール福岡工場のコスモス畑に行ってきました。畑地には鳥は居ませんでした。駐車場周りにスズメ、ムクドリ、シロハラ、アトリ、カワラヒワ、ハクセキレイ、ホオジロハクセキレイがいました。

### \*3月16日 ツリスガラ・筑後広域公園ほか Mt. Sige

今日もヤツガシラ狙いで筑後広域公園に行きましたが確認出来ませんでした。でも、未だハチジョウツグミがいました。西側の体育館近くの葭原には10羽近くのツリスガラが群れていました。又、中山フジ(柳川市三橋町)の公園にはニシオジロビタキが一羽いました。



▲コウライアイサ (3月14日) 飯江川 撮影:KT





▲ホオジロハクセキレイ (3月15日) 朝倉市馬田 撮影：石橋



▲ツグミとハチジョウツグミ (3月16日) 筑後市筑後広域公園 撮影：Mt. Sige





▲ツリスガラ (3月16日) 筑後市筑後広域公園 撮影：Mt. Sige



▲ニシオジロビタキ (3月16日) 柳川市三橋町 撮影：Mt. Sige



### **\*3月19日 アオゲラ・みやま市清水山の野鳥 Mt. Sige**

ウグイスの囀りは聞こえますが、カラ類、シロハラ、ヒヨドリ以外の鳥と出会えません。でも、登山口近くの山門に下りて来ると12~3m位の高木の木々の中から、アオゲラの"甲高い鳴き声"が聞こえるので、後首が痛くなる程眺めていると、薄暗い中にアオゲラが一寸見えました。

帰りに中山大藤公園(柳川市三橋町)に立ち寄ると、ニシオジロビタキが熊野神社の側の小さな林の中で飛び交い、未だ居てくれました。



▲アオゲラ (3月19日) 清水山 撮影: Mt. Sige

### **\*3月29日 サシバを待って・久留米市耳納平駐車場 川口昌尚**

耳納山の耳納平駐車場で午前中いっぱい観測を行いました。結果は一羽も観測されませんでした。身体が凍えるほどに北風が強く鷹の渡りには最悪のコンディションで、サシバどころか一羽の猛禽類も出ず、沢山いたカラスでさえ稜線より上に上がってきませんでした。しかし、耳納山でも南風さえ吹いていれば観測できたと思います。観測を行った耳納平駐車場は有明海から遠くは九重連山あたりまで視界が開けていて、解像度の高いスコープさえあれば、長崎を除く九州の西半分を通過する個体は殆ど観察可能な絶好の観察ポイントでした。次回の秋の渡りからはこのポイントで観察することにします。

### **\*4月3日 ヤツガシラ\*1・久留米市ゆめタウン裏 満田泰博**

仕事からみで、ゆめタウンから上流側に車を走らせていると、高速道路橋梁の上流側の河川敷駐車場の上空を翼が白黒のストライプ模様の鳥が上流側へ飛んでいるのが見えました。その鳥は駐車場横の草地の河川敷に下りたので、車に積んでいる双眼鏡で確認するとヤツガシラでした。

### **\*4月4日 久留米市ゆめタウン裏の野鳥 石橋**

ゆめタウン裏の河川敷の探鳥コースを歩いてみました。ヒレンジャク・ヤツガシラはいませんでした。カラスは巣作りの真っ最中で、2羽で木の枝を運び込んでいました。いつもの樋門の所にヒクイナと林の上にツリス



ガラ群れが現れました。カササギの巣もありました。



▲カササギの営巣・久留米市ゆめタウン裏 撮影：石橋

**\*4月5日 ヒレンジャク\* 1・久留米市ゆめタウン裏 KT**

ゆめタウン裏の駐車場から高速道路橋梁の辺りまで、タンポポの花咲く河川敷を歩いてみました。小さなセッカが草むらの中に止まっていました。いつもの樋門まで歩いていると、飛んできた鳥が目の前に止まり、ヒレンジャクでした。他にも居るかなと思いましたが一羽きりでした。他、ツリスガラやホオジロがいました。



▲ヒレンジャク・久留米市ゆめタウン裏 撮影：KT



## ＜近隣エリア＞

**\*2月13日 オオモズ・佐賀県みやき町 Mt. Sige**

佐賀県みやき町でオオモズを観察しました。



▲オオモズ・みやき町 撮影：Mt. Sige

(補足・池長 オオモズは2月4日～3月11日まで観察されました。佐賀県初記録のようです)

**\*3月1日 オオジュリンほか・玉名市にて KT**

玉名市の葭原で探鳥してきました。ツリスガラやカワラヒワ、メジロ、オオジュリンが群れなして飛び交っていました。カワラヒワは通称カナヒバリとも言うそうです。オオジュリンは最初シベリアジュリンかとも思ったのですが、胸や脇に縦斑が多いし、上面は赤褐色味が強く、体型が細長いので違うかなと思います。他にもホオアカ、ニュウナイスズメ、バンの若鳥、アオジやハイタカがいました。カモもたくさんいました。徒然なるままの楽しい探鳥でした。



▲オオジュリン (雄)・玉名市 撮影：KT

### 3月4日 佐賀県白石町の野鳥 石橋

佐賀県杵島郡白石町の干拓へ行きました、12時頃自宅を出て、13時前～16時まで、帰宅17時20分。結果、34種。ユリカモメ、ハクセキレイ、カワウ、ツグミ、クサシギ、コサギ、コガモ、カワラヒワ、オオジュリン、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、ダイサギ、アオサギ、モズ、カルガモ、ヒバリ、オナガガモ、オオバン、ハシビロガモ、カイツブリ、ハシボトガラス、ホシハジロ、マガモ、ジョウビタキ、スズガモ、キジバト、ツグミ、ツバメ、トビ、ヒドリガモ、ホシムクドリ、スズメ、ミサゴ、オカヨシガモ。

私にとって珍しかったのは、ヘラサギの婚姻色、サギ類の食事、木止まりのホシムクドリ（20羽以上居ました）、オナガガモの胸の変色、ツバメ、スズガモの大群500～1000羽以上、北へ帰る準備かな？



▲胸が変色したオナガガモ 撮影：石橋

（注：胸の色は鉄分のある土壌等で染色されたものと思われます）



▲婚姻色が出たヘラサギ

### \*3月12日 ソリハシセイタカシギ\*2・佐賀県東与賀干潟 Mt. Sige

大授溺に出かけました。以前から話題のヨーロッパムナグロが目的でしたが、いませんでした。満潮の波間にはソクシガモが中心に群れて浮かび、ヨシガモが数羽いました。しかし、偶然ソリハシセイタカシギが波間から2羽が見え隠れしているのが分かりました。どうやら冬を越してくれたようです。昨年11月に観て以来、久し振りに優雅なアボセットに出会えて満足でした。



▲ソリハシセイタカシギ（通称：アボセット）・大授溺 撮影：Mt. Sige

### \*3月14日 ヨーロッパムナグロ\*1・大授溺（東与賀干潟） Mt. Sige

どうしてもヨーロッパムナグロを見たくて大授溺に出かけました。午前中の限られた時間内では見つけ出す事が出来ず、諦めて帰ろうと遊歩道を歩いていると、ダイゼンの群れにカメラマンが集まっていたので足を止め、スコープを向けると、それらしきものがいました。ダイゼンより一回り小さく、夏羽に変わりつつある個体でした。





▲ヨロヅパムナグロ・大授溺 撮影：Mt. Sige

**\*3月21日 ヤツガシラ・佐賀市佐賀空港 Mt. Sige**

佐賀空港に出かけました。西側海岸堤防下の未舗装道路の脇の落葉した一本の木に、鳥が止まっているのに気づき、"もしや!"と思い、車の窓を開けてカメラを向けると、直ぐに気付かれ飛んでしまいました。数本の白線が目立つ飛翔体に、直ぐにヤツガシラと分かりました。反対側の堤防斜面に下り立つと同時に、又、樹木側に戻り、枯れた草地の中に飛び込んで行きました。約14~15mの所で暫く待っていると、草叢からヒョイと出てくれました。3~4枚程撮りましたが、直ぐに南側に飛んで行ってしまい、それから二度と姿を見る事が出来ませんでした。



▲ヤツガシラ・佐賀空港 撮影：Mt. Sige



### **\*3月22日 オオチドリ\*2・佐賀市佐賀空港 Mt. Sige**

昨日のヤツガシラを再度観たくて佐賀空港に出かけたところ、支部の石橋さん、河村さんと偶然にお会いし、三人で探していたところ、石橋さんが「居た！居ましたよ！！」と、興奮気味に言われるので、私も傍で「ムナグロの幼鳥かな？」と双眼鏡で、疑心暗鬼で見てましたが、望遠が効くカメラに変えて覗くと、なんとビックリ!!オオチドリでした。顔、腹が白く、首から胸には赤褐色で、下は黒帯があります。翼は濃い黄土色で、細長い足が特徴で優雅で綺麗なチドリです。私が最初に見ていたのは淡い褐色の雌のようです。多分、番(つがい)かと思います。その日は「ヤツガシラ」も探し回って、再び、その現場に戻って来ると、カラスが何かを補食していました。上空にはハヤブサが舞い、足には何かを掴んでいるようでした。チョウゲンボウも現れ、又、2羽のトビがカラスを押し退けて補食しました。周辺には細長い水路があり、未だカモが居て襲われたようです。全て飛び去った後、残骸を見ると「コガモ」でした。昨日(30日)まで毎日のように未耕作の畑や、逆に耕されたばかりの畑等、隈無く探しましたがもう見つかりません。猛禽類が舞い、傍でカモが襲われるなど危険を察知して、その日に何処かに飛び去ってしまった可能性が高いと思いました。



▲オオチドリ

### **\*4月11日 タシギとセイタカシギ・佐賀県大授溺付近 KT**

大授溺からの帰り道、田園地帯をゆっくり回って行くと、蓮田ではタシギの群れ(5~6羽)とセイタカシギがせっせと餌を捕っているのに出会いました。セイタカシギの虹彩は赤かったのですね。再認識しました。

### **\*4月12日 オオルリとアトリ・熊本県南関町 KT**

友達と黒崎公園のウミアイサに逢い、その後久しぶりに大津山神社に出かけてきました。オオルリ狙いだったのですが、まだ早いだろうと思っていたのにびっくり！帰り際本当にオオルリが出てくれました。それも二羽！どうやら覇権争いをしていたみたいでした。山頂駐車場の少し手前付近でした。

帰りは裏道を通ると、アトリの群れが一斉に田んぼから電線に止まったりしていました。100羽近くいたと思います。





▲タシギ・佐賀市 撮影：KT



▲セイタカシギ・佐賀市 撮影：KT





▲オオルリ・熊本県南関町 撮影：KT



▲アトリ・熊本県南関町 撮影：KT



## ＜九州各地＞

**\*3月17日 大分県由布市男池の野鳥 池長裕史**

早春の男池（大分県由布市）を散策してきました。あちこちでゴジュウカラの声が響いて、川沿いではミソサザイも囀っていました。うれしかったのは、九州では初めてのオオアカゲラに出会えたことです。さすがにキバシリは探せませんでしたが、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス、カワガラスなど楽しめました。若葉が出てくるまで、木々の間の小鳥に出会える季節ですね。



▲ゴジュウカラ・男池 撮影：池長裕史



▲ミソサザイ・男池 撮影：池長裕史



**\*3月20・22日 大分県由布市黒岳男池の野鳥 KT**

私もスプリング・エフェメラルを感じたくて、3月20日と22日に男池に出かけてきました。2日違うだけで草木の芽や葉は伸び、花も咲き始めていました。バイケイソウの若葉はグンと伸び、またユキワリイチゲの可憐さは何とも言えないくらいでした。残念ながらアズマイチゲはまだでしたが、次の楽しみとなりました。初めて見るオオアカゲラやゴジュウカラ、ヒガラでしたので、やっと出逢えてとても嬉しかったです。鳴き声も少し分かる様になりました。



▲ヒガラ・男池（2020年3月20日） 撮影：KT



▲オオアカゲラ・九重かくし水〜ソババツケ（2020年3月22日） 撮影：KT



**\*3月21日 アネハヅル・鹿児島県出水市 池長裕史**

天気が良くて、暖かだったので、どこかに行こうと決めて、とりあえず八代（熊本）まで行きましたが、予想していたほどにはカモメ類はおらず、天草観光して帰ろうかとも思ったのですが、今シーズン行っていない出水まで足を伸ばそうと決めて車を走らせると、水俣までは自動車道が延びていて、楽々行き着きました。

さすがに万羽鶴のほとんどが渡去して、農耕も始まっていましたが、残り鶴の中にまだアネハヅルがいました。



▲ナベヅルとアネハヅル・出水市荒崎 撮影：池長裕史